兵ト協◆ドラコン

模範運転励行よびかけ

危険なイメージ払拭を

【兵庫】兵庫県トラック協会（福永征秀会長）は7月20日、トラックドライバー コンテスト兵庫県大会を開き、競技を通じて安全意識の高揚と交通事故防止活動の推進を図った。

競技は、学科（法規、構造機能、運転常識）300点、実科（点検、運転）700点の千点満点。選手は、4トン部門12人、11トン部門14人、トレーラ部門8人、2トン部門4人の合わせて38人が出場している。

その結果、4トンが平田和幸氏（日本通運明石航空支店）、11トンで清川智之氏（西濃運輸神明支店）、トレーラは竹野登久大氏（新宮運送姫路営業所）、2トンでは福田誠氏（西濃運輸姫路支店）がそれぞれ1位を勝ち取った。

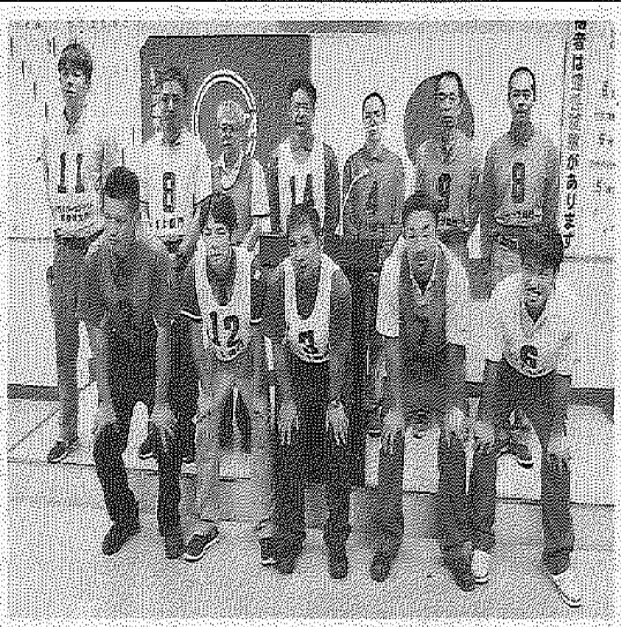
福永会長は「皆さんの運転は社会から見られている。トラックは危ないという風評を払拭するには、模範となる運転を励行し、マナーの良さを示さなければならない。これからも精進を続け、社会に貢献して欲しい」と呼び掛けた。

（渡辺弘雄）

動距離といった、トラック特有の危険性について実演。内輪差の実演では、トラックの後輪に巻き込まれる三角コーンの姿に多くの悲鳴が上がった。

参加者は「自分の命を自分で守ることの大切さを学んだ。自転車が関係する事故が特に多いと聞いたが、両親を悲しませることが無いように注意しながら運転したい」と話した。

（蓮尾輝）



入賞した選手が勢ぞろい